



E.D.I.

環境デザイン研究所
ENVIRONMENT DESIGN INSTITUTE

基本データ

所在地／千葉県 流山市
発注者／学校法人坂巻学園
主要用途／幼稚園
設計／建築・外構・遊具
敷地面積／4,471.48m²
建築面積／1,245.84m²
延床面積／1,034.54m²
構造・規模／木造 1階建て
基本計画／2007年 4月～2007年 9月
基本設計／2007年10月～2007年12月
実施設計／2008年 1月～2008年 6月
施工期間／2008年7月～2009年3月



園舎外観



緑に囲まれたデッキテラス



「風の広場」につながる野外交渉



可動間仕切りで仕切られた保育室



ロフトつきの「絵本の小部屋」

『EDI REPORT』では、竣工物件のプロジェクト概要と、設計・監理時の配慮点などについて 2009.8.10 随時、設計担当者からご報告していきます。

一の台幼稚園 (環境設計部：中川由美子)

▶ 計画概要

一の台幼稚園は千葉県郊外、流山市の住宅街に立地する園児数約300名の幼稚園です。園舎はL型の敷地を活用した木造平屋建てとし、手前に園庭を設けました。たくさんの木々に囲まれる緑豊かな幼稚園です。



▶ 2つのオープンスペースを中心とした可変性のある保育環境づくり

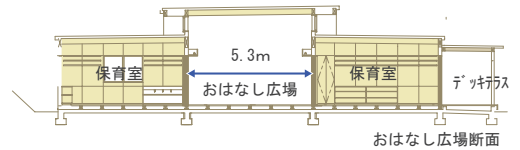
設計当初、クラスごとに保育室を固定しないコーナー保育を目指しているというお話を伺いました。活動にあわせて柔軟に使い分けができる、可変性のある保育環境づくりをコンセプトに打合せを重ね、2つの大きなオープンスペースを中心としたコンパクトで開放性のある園舎が完成しました。

■活動拠点となる「風の広場」

「風の広場」と名付けたオープンスペースは仕切りのない遊戯室です。職員室、調理室、3つの保育室が面しており、保育室の扉は風の広場に向かって大きく開き一体利用できるように計画しています。風の広場の上部を一周するキャットウォークは変化に富んだ様々なコーナーにつながっており、イベント時の観覧スペースにもなります。

■保育室としての機能をもつ「おはなし広場」

「おはなし広場」と名付けたオープンスペースには6つの保育室が面しています。「おはなし広場」は5.3mの幅をもち、通路としてだけでなく間仕切りを開放した保育室との一体利用が十分可能です。「おはなし広場」に設けた園児用のロッカーの配置を変えることで様々なコーナーづくりが可能です。また、フローリングの色を変えることで通路としてのスペースを認識できるように工夫しました。



おはなし広場断面



観覧席になる階段遊具がある「風の広場」



幅5.3メートルのおはなし広場

▶ 多様な体験ができる環境づくり

一の台幼稚園は園庭も園舎も行きどまりのない回遊動線で結ばれています。当社独自の「遊環構造理論」に基づいて計画しており、回遊動線にはさまざまな楽しいスポットを設け、こども達がいろいろな体験をできるように工夫しました。

■浮遊感が楽しいネット遊具「わくわくネット」

キャットウォークに設けた「わくわくネット」は屋根の上に顔を出すことができ、外の景色を望むことができます。

■多様な遊びが展開できる屋外スポット

ボール遊びやかけっこなどのびやかな遊びができる園庭「みんなの広場」を中心に、足元の仕掛けがたのしい「どんぐりの小道」、夏には水遊びを楽しむみどりのプール、室内ステージとつながる野外交渉、お花畑や菜園など屋外にもたのしいスポットをたくさん設けています。



「わくわくネット」



どんぐりの小道



プール